

## よくある Q&A

### Q. 「●教材終了レベル」と「Lexile®指数」のどちらを基準に選べばよいですか？

A. 教材レベルと Lexile®指数は別物です。Lexile®指数はネイティブ向けに開発された指数であり、文章の単語数や難易度、構文の複雑さ、長さなどを総合的に数値化しています。日本人が外国語として英語を（課題別に）学習する場合と、ネイティブの方々が日常生活の中で母語として英語を獲得していく場合とでは、獲得や習熟の仕方に差がありますので、基本的には教材レベルで選んでいただくことをおすすめしています。

### Q. 「くもんの英語図書リスト」に掲載されている同じ教材レベル（10冊）の本でも、Lexile®指数に幅があるのはなぜですか？

A. 同じ Lexile®指数の本でも、難易度の印象は、使用されている語彙やジャンルによってかなり異なります。「くもんの英語図書リスト」ではさらに、それまでの教材学習を通じた語彙のカバー率や総語数なども考慮に入れているため、Lexile®指数に幅が生じています。



### Q. 同じ教材レベル（10冊）の本は、どのような順に並んでいますか？

A. 総語数の少ないものから多いものへと並んでいます。

### Q. 「G教材終了レベル」と書かれている本でも、掲載されている本が低年齢向けだと思うのですが…。

A. 「くもんの英語図書リスト」では、日頃英語の本を手にする機会のない生徒さんでも、「苦勞せずに楽しんで読むことができる」こと、そしてある程度「自信を持って読める」ことを念頭に置いて本を選定しました。それまでの教材学習を通じた語彙のカバー率や総語数、文法項目なども考慮に入れています。国語の読書レベルと比べると物足りないように感じるかもしれませんが、「英語の本を読む」というと最初は「ハードルが高い」と感じるものです。まずははじめの1冊を気軽に手に取り、「英語の本が読めた！」という自信をもって、少しずつレベルの高い本へとステップアップしてもらえればと思います。

### <参考資料>

① : 「KUMON now Vol.178 くもんの英語図書リストの活用」

<https://www.kumon.ne.jp/kumonnow/topics/vol178/>



② : 「KUMON now Vol.350 Lexile®（レクサイル）指数とは？」

<https://www.kumon.ne.jp/kumonnow/topics/vol350/>



③ : 「Amazon 英語 難易度別リーディングガイド」

<https://www.amazon.co.jp/lexile>



④ : 「Lexile Book Search サイト」

[https://toefljunior.lexile.com/ja/account/profile\\_home/](https://toefljunior.lexile.com/ja/account/profile_home/)



スマホからの場合、  
『絞り込み』から  
「Lexile Range  
(Lexile 指数)」を  
選択してください。

